

「生け垣」・「シンボルツリーと低木」の選び方と 管理の方法について

「生け垣について」

選ぶポイント！

樹種を選ぶ際は、「葉の密度が高い」「病害虫に強い」「手入れがしやすい」「樹高が1～1.5m程度になるもの」を選ぶと良いでしょう。

おすすめは、コニファー、レッドロビン、トキワマンサク、ドウダンツツジ、アベリアなど

●生け垣：（混ぜ垣）

混ぜ垣（交ぜ垣）とは、複数の樹種を組み合わせで作る生け垣のことです。

一種類の樹種で作る生け垣は統一感があり、見た目も美しいですが、病害虫が発生した際は生け垣全体へと被害が広がりやすくなります。

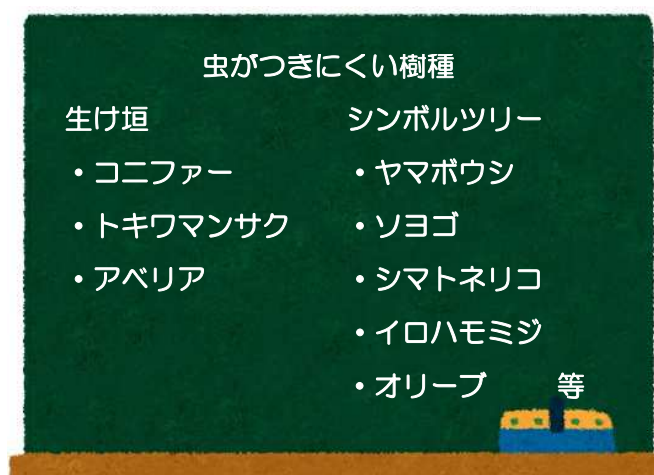
しかし、混ぜ垣の場合、複数の樹種を組み合わせているため病害虫の被害は広がりにくく、組み合わせによっては樹木を植えているだけで防虫効果を発揮します。

また、実の成る木、花が咲く木、香りのある木などを混ぜて植えることで、一年を通して変化を楽しむことができます。

●簡単！病害虫防除について

一般に販売されている市販の殺虫スプレー。本来は直接虫に噴きかけますが、生け垣やシンボルツリー等に噴きかけるだけで、防虫効果があります。

殺虫スプレーは多くの家庭にもあるため、わざわざ生け垣のために薬剤を買わなくてもよく、お財布にも優しくお得です。



「シンボルツリーと低木について」

選ぶポイント！

- ①好みの樹木を植える
- ②成長スピードが遅い（どのくらいの高さまで成長する樹木なのか確認してください）
- ③虫がつかない樹木

◇推奨樹木◇

シンボルツリー (中木以上)	分類 (参考の高さ)	主な特徴・特性について	成長の早さ
ヤマボウシ	落葉樹 (5~10m)	春から初夏にかけて大きな白い花が咲く。虫がつきにくく、剪定の手間が少ない。	遅い
ソヨゴ	常緑樹 (5~15m)	虫がつきにくく、剪定の手間が少ない。	遅い
アオダモ	落葉樹 (10~15m)	木の戸建てに合う。四季を通じて見た目が変わる。耐寒性強い。目隠しに使える。	遅い
シマトネリコ	常緑樹 (2m~15m)	株立ちがおすすめ。虫がつきにくく、目隠しに使える。耐寒性弱い。	早い
イロハモミジ	落葉樹 (5~7m)	虫がつきにくく、日常管理が簡単。剪定の手間が少なく、狭いスペースに適している。管理がしやすい。水はけの良い土壌を用意すること。	早い
ヒメシャラ	落葉樹 (8~10m)	樹高 3~5mのヒメシャラ株立ちは、日陰や目隠しに使える。	中間
ハナミズキ	落葉樹 (5~10m)	剪定の手間が少なく、狭いスペースでも栽培できる。乾燥に弱い。	中間
サルスベリ	落葉樹 (3~7m)	赤い花が百日以上咲く。比較的耐寒性があり、剪定に耐える。	やや遅い
オリーブ	常緑樹 (15m)	虫がつきにくい。剪定の手間が少なく、植えるだけで地中海の風が吹く。乾燥に強い。	早い
フェイジョア	常緑樹 (3~5m)	比較的虫がつきにくい。華やかな花は熱帯の雰囲気たっぷり。果実がなる。	遅い

低木	分類 (参考の高さ)	主な特徴・特性について	成長の早さ
オオムラサキツツジ	常緑低木 (1～2m)	4月から5月にかけてツツジの中では最も大輪で、鮮やかな紫色の花が咲く。管理がしやすい。刈り込みに耐える。	普通
ドウダンツツジ	落葉低木 (1～5m)	4月から5月に鈴形の白い花が咲く。秋の紅葉も美しい。強い萌芽力があり、刈り込みに耐える	やや遅い
アジサイ	落葉低木 (1.5～2m)	ナメクジ以外の病害虫に強く、丈夫な樹木。株立状になる。潮風に耐え、乾燥は嫌う。萌芽力は強い。	早い
コデマリ	落葉低木 (1～2m)	春に白い花が咲く。萌芽力があり、刈込はできる。	早い
ナンテン	常緑低木 (1～2m)	梅雨に白い小花をつけ、晩秋に紅実を房状に付ける。	遅い